

2021年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
学校推薦型選抜「一般推薦／指定校推薦 入学試験」

## 入試問題提出様式

試験科目：「小論文」

日 程：2020年11月21日(土)

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

---

芸術 学部 芸術 学科 音楽 領域

対象コース：ウインドアカデミー、ワールドミュージック・カルチャー、サウンドメディア・コンポジション、ミュージックエンターテインメント・ディレクション、音楽総合

※指定校推薦入試のミュージックエンターテインメント・ディレクションコースは  
事前課題

### [課題]

今年には新型コロナウイルス感染症の影響により社会全体の在り方が一変しました。会社などはリモートワークが一般的になり、新様式の働き方が定着しつつあります。勿論教育現場においても様々な対策が求められており、特に「音楽」のような実技・実習を伴う教科は創意工夫が求められています。そこでコロナ禍における新しい音楽の授業の在り方(方法・進め方)について、あなたの考えを述べなさい。

### [評価の観点]

- ・課題を適切に理解して記載されているか。
- ・段落や文字の間違いがなく、文章の構成が整っているか。
- ・音楽を通して社会的に貢献する視点を持ち合わせているか。
- ・自分自身の考えが十分述べられているか。

**模範解答**

音楽の授業の方法（工夫）について、2つの提案をしたいと思う。

まず今回のコロナウイルス感染症の最大の懸念は、集団感染をいかに起こさないかが焦点になると考える。特に音楽の授業においては、「合唱」や「リコーダー演奏」など飛沫感染のリスクが高いものが多く散見される。実際様々な検証が世界的に行われ、ソーシャルディスタンスの距離や換気など感染予防に必要な事が色々と分かってきた。そこでまず1つ目は合唱時における実施方法である。合唱はエアリズムによる感染リスクが高い事は分かっているため密での歌唱は難しい。そこで音楽室などの狭い空間でなく体育館などの広い空間を利用した授業展開はどうだろうか。実際体育館にはピアノが設置されている事が多く、ソーシャルディスタンスも取りやすい。また天井が高く空間としては申し分ない広さである。ただカリキュラム上の問題があるため実現が難しい懸念もある。その場合は最近合唱が可能なマスクが登場したので、これを使用するのも1つの手であろう。2つ目は録音を用いた授業の進め方である。今はほとんどの学生がスマートフォンなどの端末を持っている時代である（10～20代のスマートフォン普及率は約9割）。これを活用して授業に生かすというものである。この方法は歌唱や楽器演奏にも使え、教員側で添削や評価にも活用する事が可能である。例えば歌唱に関しては教員側からピアノ伴奏で歌った動画をそれぞれの学生に送り、それとは別に伴奏だけの録音も併せて送る。生徒側はそれを視聴し練習を行い、それに合わせて実際歌唱してみる。そして最後にその伴奏に合わせて歌唱をしたものを動画に撮り教員に送り返す、というものである。残念ながら ZOOM や SKYPE などのオンラインでの方法は、映像と音声にタイムラグが生じ同時に合わせるという事が難しいため、この録画のやり取りという方法が最良の方法と考える。

以上のような方法を取れば、コロナ禍においても比較的风险を抑えて授業展開ができるのではないかと思う。